

若年女性が 地方から流出する理由

-100人聞き取り調査から見えてきた傾向-



第1回地域働き方・職場推進会議

2025/04/25

地方女子プロジェクト 山本蓮

インタビュー結果の傾向

1. 「やりたい仕事がない」
2. 「結婚・出産の圧を感じる」
3. 「地域の女性役割が息苦しい」

地方ほど女性のあるべき姿が画一化



女性が地方から流出する理由①

やりたい仕事がない

仕事に関する声

- 「上の世代は早く結婚して早く子ども産むって文化があるけど私たちは**仕事頑張りたい人多い**ですね。」
(30歳・岩手県出身)
- 「今自分がいる業界と地域では**女性の先輩やロールモデルを見かけない**。東京に出たら女性も働きやすい環境があったり女性の先輩がいたら早く出ていきたい。」
(24歳・鹿児島県出身)

仕事に関する声

■ 地元は親が働く環境がなく、子育てをするには難しい環境。」
(35歳・京都府出身)

■ 「地元にある仕事といえば、看護師、介護士、保育士、
公務員、銀行員、教師、あとはパートなどのイメージ。
そこに自分がやりたいと思える仕事はなかった。」
(25歳・宮崎県出身)

女性が地方から流出する理由②

結婚・出産の圧力

結婚・出産の圧に関する声

■ 「東京で就職することを親に伝えたら 『**女が一生懸命働かなくていいよ**。それよりはいい人見つけて、**結婚して**。』とやんわり反対された。」

(30歳・沖縄県出身)

■ 「**地域おこし協力隊**で赴任したが、地元の人たちに『**女性は嫁にもらわれて家庭に入って一人前**。あなたも好かれる女性にならないと。結婚する人が減っているから日本がおかしくなっている』と言われた。」

(28歳・長崎県在住)

結婚・出産の圧に関する声

■ 「不妊治療に取り組んでいる最中、近所付き合いで『新婚さんなんだからそろそろ子どもよね』と日常的に声をかけられるのが辛く、家から一歩出たら全員敵だと思っていた。子どもがいないと地域コミュニティに参加しづらい。」

(32歳・富山県在住)

■ 「地元で子どものいない女性は透明化される。このまま透明人間になっちゃうのかなと辛くなったことはたくさんあった。首都圏で全く偏見がないことはないけれど、地元より楽になった。」

(32歳・三重県出身)

女性が地方から流出する理由③

地域の女性役割が息苦しい

地域の女性役割に関する声

■ 「地域の行事や集まりで、女の人が料理よそって、男の人が座って食べてるのを見て、私も将来こんなことやらなきゃいけないのかな…と思う。」

(19歳・山形県出身)

■ 「お盆やお正月では、料理を準備したり運んだり忙しそうなのは女の人、座って食べて飲むだけの男の人を見てきた。『将来、女の子なんだから気の利く人間になりなさい』と言われた時は、女の人って生きづらい、と感じた。」

(25歳・新潟県出身)

地域の女性役割に関する声

■ 「親戚の集まりで小さい頃、「女の子だから」とお酌をさせられたが、弟には何もなかった。こういった経験の積み重ねで親戚の集まりに嫌悪感を抱くようになった。」

(23歳・栃木県出身)

■ 「実家に帰ると、母親から自分には家事を手伝うようお願いされるが、兄や弟には指図しているところを見たことないし、男兄弟は手伝ってくれない。なんで私だけが？と思う。」

(30歳・沖縄県出身)